

**製品名: CKR-4 ウサギポリクローナル抗体**

**カタログ番号: APRab08870**

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	41kDa

## 抗原情報

遺伝子名	CCR4
別名	CCR4; CMKBR4; C-C chemokine receptor type 4; C-C CKR-4; CC-CKR-4; CCR-4; CCR4; K5-5; CD antigen CD194
遺伝子 ID	1233.0
SwissProt ID	P51679
免疫原	抗血清はヒト CCR4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

## 背景

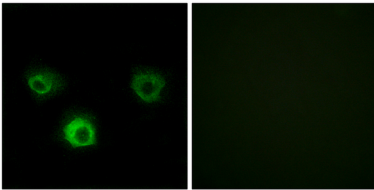
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、G タンパク質共役受容体ファミリーに属し、CC ケモカイン（MIP-

1、RANTES、TARC、MCP-1) の受容体です。ケモカインは、さまざまな種類の白血球の細胞輸送を制御する、構造的に関連した分子の小さなポリペプチドのグループです。ケモカインはまた、免疫系の発達、恒常性、機能において基本的な役割を果たし、血管新生や血管静止に関与する内皮細胞だけでなく、中枢神経系の細胞にも影響を及ぼします。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能: C-C型ケモカイン CCL17/TARC および CCL22/MDC の高親和性受容体。この受容体の活性は、ホスファチジルイノシトールカルシウムセカンドメッセンジャーシステムを活性化する G(i)タンパク質によって媒介されます。循環記憶リンパ球上の走化性因子ホーミング受容体として、また一部の一次 HIV-2 分離株の共受容体として機能し得る。中枢神経系では、海馬ニューロンの生存を媒介する可能性がある。、オンライン情報: CC ケモカイン受容体エントリ,PTM: ナチュラルキラー細胞において、CCL22 の結合は、おそらく  $\beta$  アドレナリン受容体キナーゼ 1 および 2 によって、未だ定義されていない Ser/Thr 残基のリン酸化を誘導する。、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。、組織特異性: 主に胸腺、末梢血白血球 (T 細胞 (主に CD4 陽性細胞)、好塩基球を含む)、および血小板に発現し、脾臓および単球にも低レベルで発現する。マクロファージ、IL-2 活性化ナチュラルキラー細胞、皮膚ホーミングメモリー T 細胞 (主に皮膚リンパ球抗原 (CLA) を発現する細胞) にも検出されます。脳微小血管および冠動脈内皮細胞にも発現しています。

## 研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;ケモカイン;

## 画像データ



CCR4 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。